

定例工学研究科教授会議事録

日 時 平成29年3月8日(水) 14時30分～15時35分(休憩15分間を含む)
場 所 中央棟 大会議室
出席者 滝澤研究科長 ほか85名(議決権の無い医工学研究科教授(7名)は除く)
欠席者 堀切川、西澤、小菅、浅井(航空)、福永、岩崎、遠藤、小池(洋)、浅井(応化)、
長尾、及川、高村、京谷、五十嵐、長平、高橋(信)、橋田、猪股、小池(淳)、
木村の各教授
外国出張等 吉田、朱、風間(聡)の各教授

1. 新任教職員紹介

議長から、新任教職員の紹介があり、当該教職員から挨拶があった。

2. 退職教授紹介

議長から、平成28年度末で退職予定の教授の紹介があり、当該教授から挨拶があった。

3. 前回記録確認

議長から、平成28年12月14日(水)開催の定例工学研究科教授会議事録案について諮り、原案どおり承認した。

4. 人事異動

議長から、配付資料に基づき報告があった。

5. 審議事項

(1) 副研究科長・研究科長補佐候補者の指名について

議長から、副研究科長・研究科長補佐候補者の指名について、下記の者を候補者とするについて説明があり、審議の結果、これを承認した。なお、任期は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までとなる旨発言があった。

副研究科長(総務担当)	植松 康 教授
副研究科長(教育担当)	湯上 浩雄 教授
副研究科長(研究担当)	長坂 徹也 教授
研究科長補佐(工学教育院関係)	安藤 晃 教授
研究科長補佐(社会・地域連携)	久田 真 教授
研究科長補佐(修学・就業環境整備)	橋爪 秀利 教授

(2) リサーチプロフェッサーの称号授与について

議長から、リサーチプロフェッサーの称号授与について提案があった後、当該主任専攻長から配付資料に基づき研究業績等について説明があり、審議し投票の結果、本研究科としてリサーチプロフェッサーの称号授与に係る候補者とするを承認し、総長あてに推薦することとした。

(3) 准教授の任用について

議長から、准教授の任用について配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

(4) 附属図書館工学分館長候補者の選考について

議長から、附属図書館工学分館長候補者の選考について配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

(5) 先端材料強度科学研究センター長候補者の選考について

議長から、先端材料強度科学研究センター長候補者の選考について配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

6. 報告事項

(1) 特任教員の任用等について

議長から、特任教員の任用等について、配付資料に基づき報告があった。

(2) 准職員・時間雇用職員の無期雇用について

議長から、准職員・時間雇用職員の無期雇用について報告する旨発言があった後、荒総務課長から配付資料に基づき、「限定正職員」に3つの名称区分が設けられること、勤続年数3年目以降に申請資格を有することになること、及び今後の申請手続きのスケジュール等について、報告があった。

(3) 東北大学大学院工学研究科及び工学部組織運営規程の一部改正について

議長から、東北大学大学院工学研究科及び工学部組織運営規程の一部改正について、配付資料に基づき学科目名の記載順を変更したことの報告があった。

(4) 分野（基幹講座）及び研究分野（協力講座）の変更について

議長から、分野（基幹講座）及び研究分野（協力講座）の変更について、配付資料に基づき報告があった。

(5) 六大学工学系人材育成協定書等（案）について

議長から、六大学工学系人材育成協定書等（案）について報告する旨発言があった後、植松総務企画室長から配付資料に基づき、①45歳位までの准教授及び講師クラスの若手教員を3年間協定締結校へ派遣する。②形態は転籍出向、在籍出向、クロス・アポイントメントのいずれかとなること。③派遣元の機関に必ず戻ること。④移転費用は派遣時は派遣先が、戻るときは本研究科が負担すること。⑤博士後期課程の学生が派遣先に転入学を希望する場合は、修了まで6月以上在籍期間が残っている場合とし、入学検定料及び入学料は学生の負担とならないよう、出願を受けた大学は最大限努力することとされていること。等の説明があった。

(6) 平成28年度東北大学総長教育賞及び工学研究科長教育賞受賞者の決定について

議長から、平成28年度東北大学総長教育賞及び工学研究科長教育賞受賞者の決定について、配付資料に基づき報告があった。

(7) 平成28年度学生受賞者「総長賞候補者、工学部長賞・工学研究科長賞及び総長優秀学生賞受賞者」について

議長から、平成28年度学生受賞者「総長賞候補者、工学部長賞・工学研究科長賞及び総長優秀学生賞受賞者」について、配付資料に基づき報告があった。

7. その他

(1) 次期工学研究科長・工学部長候補者の内定について

議長から、次期工学研究科長・工学部長候補者の内定について報告する旨発言があった後、植松副研究科長から次期工学研究科長候補者として滝澤教授が総長面談を行い、総長より正式に内定の通知があったこと、また、規程により工学部長となることの報告があった。なお、任期は平成29年4月1日から平成30年3月31日までとなる旨発言があった。

(2) 安全保障輸出管理手続きの徹底について

議長から、安全保障輸出管理手続きの徹底について説明する旨発言があった後、植松安全保障輸出管理委員長から配付資料に基づき、過去に本研究科修士課程を修了した留学生から、今回博士課程に入学しようとして提出された願書の出身大学名が修士課程入学時と異なっており、添付された成績証明書が偽造された疑いがあることが判明した。従って、留学生を受け入れる際は十分に信頼できる人物かどうかチェックしてほしい旨の説明があった。

(3) 平成29年度創造工学センターの運営体制について

議長から、平成29年度創造工学センターの運営体制について説明する旨発言があった後、石田創造工学センター長から配付資料に基づき、カタール・サイエンスキャンパスと統合し一体で

運営することにより、業務の合理化を図りたいことの説明があった。

(4) 平成29年度工学研究科等新規採用等教職員合同研修について

議長から、平成29年度工学研究科等新規採用等教職員合同研修について説明する旨発言があった後、植松副研究科長から配付資料に基づき説明及び受講対象者への声掛けの依頼があった。

(5) 平成28年度研究費不正使用防止コンプライアンス教育の実施等について

議長から、平成28年度研究費不正使用防止コンプライアンス教育の実施等について説明する旨発言があった後、齋藤経理課長から配付資料に基づき、昨年度受講していても再度受講する必要があることの説明及び協力依頼があった。

(6) 秘密保持契約の取扱いについて

議長から、秘密保持契約の取扱いについて説明する旨発言があった後、長坂副研究科長から本契約の締結は直接担当する教員等ではなく研究科長名で行い、事務が把握するようにしたいことの説明があった。

(7) 先進鉄鋼材料組織制御（JFEスチール）共同研究講座の活動報告について

議長から、先進鉄鋼材料組織制御（JFEスチール）共同研究講座の活動報告について報告する旨発言があった後、長坂副研究科長及び奥田客員教授から配付資料及びスライドを用いて報告があった。

(8) 平成29年度日本学術振興会特別研究員の内定状況について

議長から、平成29年度日本学術振興会特別研究員の内定状況について説明する旨発言があった後、長坂副研究科長から配付資料に基づき説明及び説明会に出席するよう促してほしい旨の協力依頼があった。

(9) 若手教員長期海外派遣プログラムによる平成29年度派遣について

議長から、若手教員長期海外派遣プログラムによる平成29年度派遣について説明する旨発言があった後、長坂副研究科長から配付資料に基づき説明があり、引き続き派遣者から決意表明があった。

以上